

授業展開案 高等学校地理歴史「日本史 A」

1 テーマ

士族の反乱

2 I C T 利活用のねらい

士族の反乱について， I C T 機器を用いて事件に関連する年表・地図等諸資料を表示し，資料に基づき考察させる学習活動を展開することで，明治初期の政治における各地域・個人が置かれた状況の差異についての理解を深めさせる。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板

②教材：「士族の反乱」(Microsoft PowerPoint)

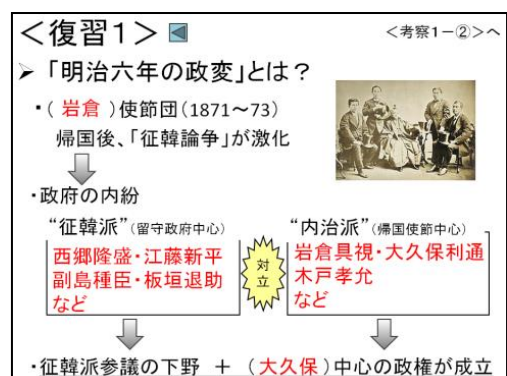
4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>士族の反乱が発生した背景を確認する。</p> <p>それぞれの士族の反乱について学習する。</p> <p>士族の反乱について資料の読み取りを契機として，当時の政治状況について考察する。</p> <p>考察を通じて明治初期の政治状況において地域や個人において置かれた状況に差異があったことを確認する。</p>	<p>①説明の補助：士族の反乱が発生した経緯を表示する。</p> <p>②表現活動：考察・発表させるための士族の反乱に関する年表・地図の資料を提示する。</p> <p>③説明の補助：考察させる内容を電子黒板に表示する。</p>

5 I C T 利活用のポイント

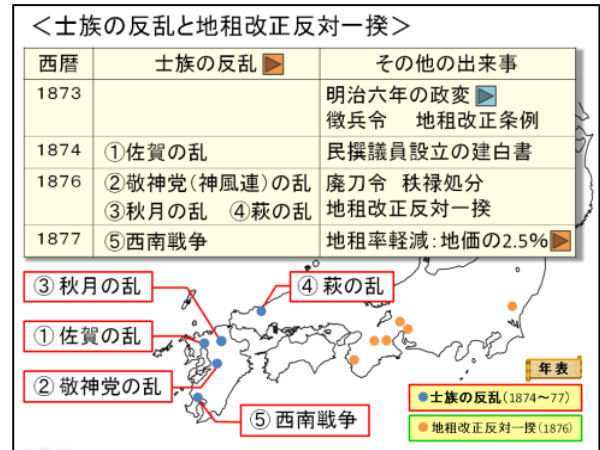
①説明の補助

教材「士族の反乱」を用いて，士族の反乱が発生した経緯を効率よく確認する。基本的な事柄を効率よく確認することで，生徒が考察する時間的な余裕を確保することができる。



②表現活動

教材「士族の反乱」を用いて、士族の反乱・地租改正反対一揆等に関する年表・地図を表示し、資料から読み取れることを発表させる。生徒の様々な気付きを引き出し、「なぜ士族の反乱は西日本に偏って発生しているのか(東日本では発生しなかったのか)」等の疑問をもたせることで考察の契機をつくる。



③説明の補助

教材「士族の反乱」を用いて、考察させる内容を表示し、考察すべき内容を共有する。また、生徒の考察の状況に応じてヒントを表示することもできる。生徒に考察させる内容の事例として「なぜ士族の反乱は西日本に偏って発生しているのか(東日本では発生しなかったのか)」「なぜ戊辰戦争で勝者側である士族(=明治政府の確立に貢献した人々)が多いはずの西日本で、政府に対する反乱がおこったのか」「なぜ地租率の引き下げが 1876 年の西南戦争の直前なのか」等を挙げている。明治維新に対する反応が地域・身分・立場によって異なっていたことに気付かせるきっかけを作ることができる。

<考察させる内容・ヒントの事例>

<考察1-①>

➤ 士族の反乱

西暦	士族の反乱	発生県名・地域	主な首謀者
1874	①佐賀の乱	佐賀	江藤新平・島義勇
1876	②敬神党の乱	熊本	太田黒伴雄ら
	③秋月の乱	福岡	宮崎重之助ら
	④萩の乱	山口	前原一誠ら
1877	⑤西南戦争	鹿児島など南九州	西郷隆盛

➤ 士族の反乱の発生地について特徴は？

- ①「東日本では発生していない」
- ②「西日本各地で発生している」
- ③「佐賀、山口、鹿児島など、かつて雄藩と呼ばれた地域で発生している」

<考察1-②>

➤ なぜ発生地に偏りがあるのか。理由を考えよう。

ヒント1:「戊辰戦争」

ヒント2:「明治六年の政変」

- ①「東日本士族の多くは戊辰戦争では敗者で、疲弊」
- ②「反乱を起こした士族は戊辰戦争では勝者で、反乱を起こす余力があった」
- ③「下野した参議たちが出身地(=西日本のかつての雄藩)に戻り、首謀者となった場合があったから」

<考察1-③>

➤ なぜ戊辰戦争で勝者側である士族(=明治政府の確立に貢献した人々)が多いはずの西日本で、政府に対する反乱がおこったのか？

ヒント1:「年表中の出来事を参考に考える」

ヒント2:「反乱を起こした士族の立場に立って、その心情を想像する」

「徴兵令、廃刀令、秩禄処分など士族の地位や特権を奪う政府の政策に対し、新政府の確立に貢献したという自負のある西日本の士族ほど失望が大きかった。」

<考察2>

➤ なぜ西南戦争の直前に地租率を地価の3%から2.5%に減額したのか。

ヒント1:「西南戦争に従事していた兵士は、普段はどんな人々？」

ヒント2:「徴兵令」

- ①「士族の反乱と農民一揆に対して、同時に対処するのは困難だったから」
- ②「動員された兵士の中には、徴兵された農民もおり、地租を軽減することで、兵士の士気を維持する必要があるから」